

## iPad を活用した授業づくり ～ガレージバンドを用いた指導～

広島県立廿日市高等学校  
教諭 谷本 修

### 1 はじめに

(1) 生徒が使用する機器とアプリ

iPad 第7世代, ガレージバンド Google Classroom

(2) 教師の機器等

iPadpro9.7 (2016), AppleTV4K, EPSON プロジェクタ EB-W05

### 2 指導の実際

	項目 (題材等)	内容 (※) 印は教師がガレージバンドで作成	新学習指導要領の「技能」 の事項における位置付け
1	校歌のアレンジ	校歌の伴奏コードを基に, 任意の楽器編成によるアレンジを行う。	A 表現 (3) 創作ウ (ウ) 編曲
2	ブルースの音階によるメロディーづくり	ブルースの伴奏 (※) を基に, 2 又は 4 コーラスのメロディーをつくる。	A 表現 (3) 創作ウ (イ) 旋律をつくる
3	ギター弾き語り ギターメロディー奏	楽曲の伴奏 (※) を聴いてメロディーを弾く。 音叉の機能を用いてチューニングをする。 フレットで音の位置を確認する。	A 表現 (2) 器楽ウ (ア) 曲にふさわしい奏法 (ウ) 表現形態の特徴を生かして演奏する
4	楽典	音階やコードネームなどを, キーボードで音を確認しながら学習する。	
5	動画のBGM作成	1分程度の「仮想」学校案内の動画 (※) を複数の中から選び, その雰囲気効果的な音楽をつくる。	A 表現 (3) 創作ウ (ア) 反復, 変化, 対照などの手法
6	ア・カペラ (多重録音)	1 人又は複数で個別のトラックごとにメロディーを歌う (録音する)。	A 表現 (1) 歌唱ウ (ウ) 表現形態の特徴を生かして歌う
7	ヴァイオリン演奏	楽曲の伴奏 (※) を聴いてメロディーを弾く。 指板で音の位置を確認する。	A 表現 (2) 器楽ウ (ア) 曲にふさわしい奏法
8	二部形式のメロディーの作成	循環コードの伴奏 (※) を基に, 二部形式のメロディーをつくる。	A 表現 (3) 創作ウ (イ) 旋律をつくる

※ 5は開発中, 6・7は構想中

### 3 おわりに

ガレージバンド以外にも, Google ドキュメントによる鑑賞レポートの提出, Google フォームを用いた振り返りなど, iPad を活用した指導は様々考えられる。

## 一人一台導入校実践事例

校 番	15	学 校 名	広島県立廿日市高等学校
導入端末	iPad		
実施日	令和2年6月～7月		
教科(科目)	芸術「音楽Ⅰ」		
実施学年	1学年		
使用機器	プロジェクター, Apple TV, スクリーン, Bluetooth送・受信機		
使用したアプリ等	GarageBand, Google ドキュメント		

## 【実践内容】



パワーポイントで作成した動画の1コマ



ガレージバンドを用いた創作の学習

- ・5月に「音楽Ⅰアンケート」をGoogleフォームで行い、生徒の音楽経験や音楽を聴く環境などを十数項目により把握した。また、今後の学習内容の予告として、「校歌伴奏のアレンジ」「コードネームの仕組み」の2本の動画（各5分程度）をパワーポイントで作成し、G SuiteのClassroomを通じて配信した。
- ・6月にリズム創作の学習を行い、音符や休符、拍子、反復記号など楽譜の基礎的な知識を活用したオリジナルのリズム譜を作成させ、GarageBandにその作品を入力させた。
- ・6月に任意の楽曲について調べる鑑賞の学習を行い、Pop（購買意欲促進広告）風の紹介文を作成する設定で、楽曲の雰囲気や音楽の特徴、演奏形態、ジャンル、聴きどころなどについて、Googleドキュメントで項目ごとに色分けをして入力させた。
- ・7月に校歌の伴奏をアレンジする創作の学習を行い、GarageBandで個々のイメージに沿った任意の音楽となるように作成させた。生徒の作品は適宜Apple TVで画面ミラーリングを行い、クラス全体で共有した。また学習の振り返りはGoogleフォームで行った。

## 【成果】

- ・GarageBandを用いた創作の指導は、多種多様な音源を活用できるので生徒の意欲を引き出しやすく、短時間で効率的に学習させることができた。特に校歌の伴奏のアレンジでは「どんどんアイデアが浮かんできて楽しかった」「面白いので来年の1年生のものを聴いてみたい」「悩む時間がとても楽しくてこれからの授業がずっとGarageBandだったらいいなと思いました」などの意見が大半を占めるなど、大変好評であった。
- ・Googleドキュメントを用いた鑑賞の指導は、音楽を聴いて感じたことや分かったことについて、色分けしながら文章入力をさせることにより、情報を整理しながら内容をまとめさせることができた。また、評価の観点もわかりやすくなった。

## 【今後の課題】

- ・GoogleフォームやClassiを用いて授業中にリアルタイム集計などを行えば、生徒の授業への積極性が高まり、より双方向的な授業が演出されると思われる。
- ・iPadの操作が苦手な生徒が一定程度いるので、丁寧な対応が必要である。また、指導者自身手探り状態ではあるが、今後よりわかりやすい単元（題材）開発が重要と考える。
- ・Apple TVの画面ミラーリングの際、音声を映像と分離させてBluetooth経由で出力すると時々接続が不安定になり音飛びが起きる。有線で対応すれば問題はない。
- ・生徒用iPadは動画投稿サイトを視聴できないよう設定しているため、授業中に音楽関係の動画等を視聴しながら調べたりする学習が難しい。これらの学習は、家庭学習において個人所有の情報端末等で視聴するしか対応策がない。